

令和7年度 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修の御案内

福岡県では、病院勤務の医師、看護師等の医療従事者に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基本知識や、医療と介護の連携の重要性、認知症ケアの原則等の知識について修得するための研修を実施します。

開催日時

令和8年3月21日（土） 13:30～17:00

受講料
無料

会場・定員

福岡県中小企業振興センタービル301会議室（福岡市博多区吉塚本町9-15）

72名（先着順）

- ・定員を超過した場合は、受講をお断りする場合がございます。予め御了承ください。
- ・受講決定通知は行いません。お断りする場合のみ、県から御連絡いたします。
- ・申込後のキャンセルについては、県へ事前に御連絡ください。
- ・令和6年度に開催した研修と同じ内容です。

講師・ファシリテーター

原 祐一 氏（公益社団法人福岡県医師会常任理事 医師）

小路 純央 氏（久留米大学 高次脳疾患研究所 教授）

渡邊 晓博 氏（独立行政法人国立病院機構大牟田病院 医師）

西村 知子 氏（久留米大学病院 老人看護専門看護師）

福嶺 初美 氏（田主丸中央病院 老人看護専門看護師）

研修対象者

福岡県内の病院等で勤務する医師、薬剤師、看護師、リハビリテーション専門職等の医療従事者
※特に急性期病棟に従事される方。※介護職員は対象としません。

研修内容

○講義 別紙カリキュラムのとおり

○演習 事例に基づき、対応策についてグループ討議を実施

※診療報酬に係る「認知症ケア加算2」の施設基準に対応する研修ではありません。

※グループワークにかかる事前課題がございます。（以下、「研修資料・事前課題」参照）

研修資料・事前課題

- ・研修で使用する資料（次第、講義資料、演習で取り扱う事例等）は、2月末を目途として、県HPに掲載しますので、各自でダウンロードいただき、研修当日に御持参いただきますようお願いします。（会場で資料の配布はいたしません。）
- ・県HP「令和7年度福岡県病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修について」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/byouinkinmu-ninchishou-r7.html>

- ・演習で取り扱う事例については、事前に各自検討をお願いします。
※可能であれば、各医療機関において多職種を交えて検討してください。
- ・研修当日の演習は、事前に検討いただいた内容を共有するところから開始します。

参加申込

ふくおか電子申請サービスによるオンライン申込み 申込期限：令和8年3月5日（木）
<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/C7J0rLR7>

申込フォーム

二次元コード →



その他

- ・受講者には、福岡県知事名での修了証書を交付します。
※修了者名簿は同意を得た上で、県HPへ掲載することを予定しております。

(別紙) 研修カリキュラム

内 容		
13:00～	受付開始	
13:30～	主催者挨拶、ガイダンス	
講義 I 目的 (15分)	ねらい	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する
	到達目標	1 研修の目的を理解する 2 認知症の人の視点で、対応への課題を理解する 3 認知症の人を取り巻く施策等について理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ・認知症施策 ・本人の視点を重視したアプローチ ・入院する認知症の人に起こっていること ・一般病院の医療従事者に期待される役割
	ねらい	認知症を理解し、入院中の対応の基本を習得する
講義 II 対応力 (60分)	到達目標	1 認知症の特徴を理解する 2 入院生活における認知症の人の行動の特徴を理解し、対応方法について習得する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の理解 ・認知症の病型、症状、経過 ・治療薬と非薬物療法 ・認知症に伴う行動・心理症状（B P S D）への対応 ・せん妄への対応 ・認知症ケアの基本 ・家族・介護者への支援 ・認知症の人の意思決定支援について
14:50～	休憩	
講義 III 連携等 (15分)	ねらい	院内・院外の多職種連携の意義を理解する
	到達目標	1 多職種連携の意義とメリットを理解する 2 院内・院外で多職種連携する必要性について理解する 3 多職種で行うカンファレンスの要点を理解する
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・連携の定義と展開過程 ・各医療従事者の院内連携上の役割 ・入院時・退院時カンファレンスで確認・検討すべき内容や課題 ・認知症の人を支える様々な仕組み
15:20～ 演習（グループワーク） (90分)	事前課題の内容に沿って、認知症の人への適切な医療サービスの提供について検討する。	
16:50～ 質疑応答 (10分)		
17:00	閉会	